

# グループワーク対策講座 講義編

## 第1章 グループワーク（GW）・グループ・ディスカッション（GD）とは？

近年、地方公務員試験の2次試験以降で GW・GD を導入する自治体が増加しているが、これらの試験は、面接と異なり、個人でできることに限りがあることから、対策に頭を抱える受験生も多いと思われる。本講義では、公務員試験における GW・GD の全貌を明らかにするとともに、個人でできる対策についても講義する。そもそも、GW・GD とは、なにか。簡潔にまとめると、下記のとおりである。

**GW**：受験者が一つのテーマについて、数人（5～8人のところがほとんど）一組で、討論をしながらホワイトボードや模造紙に提案をまとめて発表する形式で、コミュニケーション能力はさることながら、発想のユニークさやチームの一員としての貢献度などを評価する試験。

**GD**：受験者が一つのテーマについて、数人（5～8人のところがほとんど）一組で、各自の見解を表明した後に、30～40分程度討議をすることで、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力などを評価する試験。

チーム作業の有無という違いはあるものの、**実は両者の違いはそれほど大きなものではない**。事実、これらの試験は地方公務員試験で多く採用されているが、両方とも導入しているところはなく、どちらかの試験でもって、受験生の公務員としての適性を評価している。

コロナ禍では、感染症拡大防止の観点から GW・GD の中止を打ち出す自治体が多かったものの、現在では、ほとんどの自治体において GW・GD が復活していることから、今後も採用試験において GW・GD の導入を打ち出す自治体は増加していくものと思われる。ちなみに、試験における GW・GD の重要度については、各自治体の試験実施状況からある程度推測できる。下記は、令和4～6年度試験で GW・GD を実施した自治体のうち、東京都、大阪府、広島市、石川県の実施状況である。東京都、大阪府は3次試験で GW を、広島市は3次試験、そして石川県は2次試験でそれぞれ GD を実施している。

### 東京都 I B 行政（新方式）

#### （4年度）

採用予定者数	申込者数	受験者数	1次合格者数	2次受験者数	2次合格者数	3次受験者数	最終合格者数
105	697	521	352	311	206	189	139

#### （5年度）

採用予定者数	申込者数	受験者数	1次合格者数	2次受験者数	2次合格者数	3次受験者数	最終合格者数
174	560	433	366	315	259	253	230

#### （6年度）

採用予定者数	申込者数	受験者数	1次合格者数	2次受験者数	2次合格者数	3次受験者数	最終合格者数
210	732	489	449	400	324	318	296